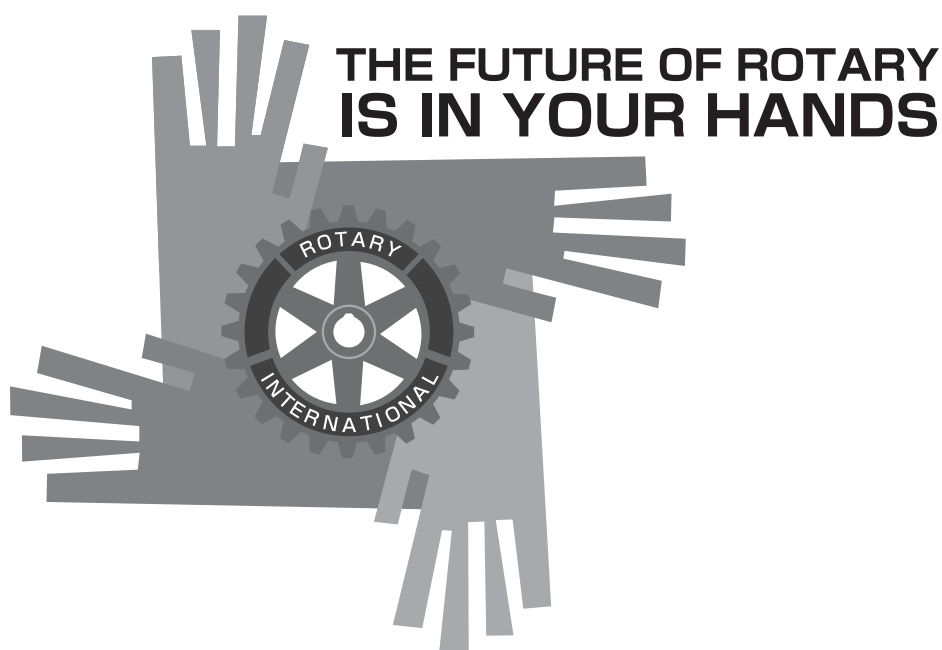


ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2009-2010

11 vol.5



**ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2660**

国際ロータリー第2660地区

2009～10年度ガバナー

大谷 透



2009-2010 Governor's Monthly Letter

目次

表2	目次
1	ガバナーメッセージ ロータリー財団月間及び世界インターアクト週間によせて ガバナー 大谷 透
2～3	ロータリー財団月間によせて ロータリー財団委員会 委員長 福家 宏
4	世界インターアクト週間によせて インターアクト委員会 委員長 田中 康正
5	第10回日韓(韓日)親善会議報告 パストガバナー 神埼 茂
6～7	地区ロータリー財団セミナー報告 ロータリー財団委員会 委員長 福家 宏
8～9	クラブ職業奉仕委員長会議 職業奉仕委員会 委員長 中嶋 進治
10	第1回クラブ社会奉仕委員長会議報告 社会奉仕委員会 委員長 片山 勉
11	青少年交換三地区合同・来日学生オリエンテーション 青少年交換委員会 委員長 岡田 俊作
12	茨木RC50周年記念事業 インドネシアで「愛と希望」コンサート 会長 久保 義誓
13	2008～2009年度 RI協同プロジェクト最高賞 地区社会奉仕委員会/地区国際奉仕・WCS委員会
14	米山奨学委員会・ロータリー財団
15	2009年度 9月度 会員数・出席報告
16	文庫通信
17	お知らせ

国際ロータリー第2660地区
ガバナー

大谷 透



ロータリー財団は6代目のR I 会長アーチ・クランプが「基金をつくり、世の中のために良い事をしよう」と提案して始まりました。そして彼は、この基金にロータリーの名を刻み、ロータリー精神を吹き込むならば、文明の続く限り輝き続け、ロータリーを不滅のものにするだろう、という意味のことを述べています。

ロータリー財団の使命は「人道的、教育的プログラムを通じて、ロータリーの綱領を遂行し、世界平和を達成しようとするロータリーの努力を支援すること」です。具体的には、水の問題、飢餓・貧困の救済、識字率の向上、病の克服などを、そして最優先事項としてポリオの根絶を強調事項として提唱しています。

これらの問題を少しでも解決することが、平和に一歩近づく事だと考えられるからです。そして、もう一つ世界からロータリーが期待されているのは world peace fellow の育成です。これらを纏めて一言で言うならば、ロータリーは「武力によらない平和」の実現を夢見ているのです。そして「夢をかたちに」という標語は昨年度で終わったわけではないのです。ロータリーの平和奨学金によって、平和的手段による紛争解決のための専門的技術と心を身につけた world peace fellow 達は、今も地球の何処かで日夜努力を惜しまずに働いています。

歴代の日本のロータリアンの方々もこの様なロータリー財団の活動方針を支援して、長年にわた

り不況の波を被るまでは、全世界の25%にも上る年次寄付を行ってまいりました。この事は世界に於ける日本の道義を高めることになり、日本は国際正義の実現と、世界平和の達成にも貢献しているとの評価につながっているのです。

今、世界的な不況のあおりを受けて、期待されている歩みから遅れをとっていますが、我々の財団です。今年度もあなたによってロータリー精神を吹き込んで頂ければ、すぐにもとの輝きを取り戻すことでしょう。

R I は11月5日を含む1週間を「世界インターアクト週間」と定め、ロータリアンとインターアクターの高校生が一緒になって国際的な活動に参加するように推奨しています。例年この時期に年次大会を開催するのですが、受験勉強の都合で今年の当地区は9月27日に開催しました。

インターアクトクラブは、頭脳の柔軟な若い時に、ロータリーが大切にしている国際理解と世界的友好精神を、ロータリアンと一緒に活動する事により、身につけてもらおうと、学校の協力を得て提唱ロータリークラブの存在する地域の高校に作られたクラブです。子供は親や教師のいうとおりににはなりません。大人のするとおりに育っていきません。ロータリアンのサービスの精神と職業に対する姿勢を分かち合うのです。若者は宝であり、未来です。「ロータリーの未来は貴方の手の中にあるのです。」



ロータリー財団委員会
委員長

福家 宏

(八尾中央R.C.)

大谷Gは：ご着任に当たって「ロータリーを身につけよう」と呼びかけられました。私はロータリー財団月間に当たって皆様に「ロータリー財団への理解を深めて下さい」と呼びかけたいと思います。国際ロータリーとロータリー財団（以下：財団と表記）とは常に密接に連携を取り合っており、ロータリーの「奉仕の理想」を実現する上で同じ方向性を持っていますので、財団について詳しく知ることは自然にロータリーを身につけることに繋がっていくだろうと私は考えております。

財団の始まりは：1917年に遡ります。当時のRI会長アーチ・クランプが「全世界的規模で慈善・教育・その他社会奉仕の分野でよりよきことをするために基金を作ろう」と呼びかけたことに始まります。そして1928年に基金は5,000米ドルに成長し、同年の国際大会で「ロータリー財団」と名づけられ、国際ロータリーとは独立した別機関としての道を歩み始めました。そして今日までの90余年のうちにその資産は7億米ドルに達し、これまでに20億米ドルもの資金を（管理運営費含む）ロータリアンの奉仕活動に提供してきました。財団はロータリアンの寄付によって成り立っています。と同時にロータリアンは財団の支援を受けて活動を展開しているのです。財団のビデオを見ますと「財団の恩恵を受けているのはロータリアンです」という言葉が出てきます。私たちは奉仕活動を進める時に財団を重要なリソースと位置づけ、それを活用することで活動はより効果的で優れたものとなるでしょう。

ロータリアンが拠って立つもの：それは国際ロータリーとロータリー財団です。私たちの片方の足

は国際ロータリーの上に、もう一方の足はロータリー財団の上に立っています。しっかりした土台があるから私たちはロータリアンとして活動が出来るのです。その土台を支えているのもまたロータリアンなのです。当たり前のことのようですが、忘れてはなりません。

財団のプログラム：その第一はポリオ・プラスです。ロータリーはすでに20億人の子ども達にポリオ・ワクチンの接種を進めてきました。そして地球上のポリオの99%までを撲滅することに寄与してきました。残るは1%ですが、この最後の1%の撲滅に実は大変な努力と忍耐と資金を必要とします。（私はPETSと地区協議会でこの件について詳細なご説明をしました。）2008年と2009年にビル・ゲイツ氏はポリオ撲滅のための資金として合計3億5,500万米ドルもの巨額をロータリーに託しました。これに答えて財団は全世界のロータリアンに対し2012年6月までに2億米ドルの寄付を呼びかけました。私たちはロータリーが世界の子ども達に約束をした未来への贈り物（ポリオ根絶）の実現のために、年間4,000円の寄付には是非とも協力致しましょう。ロータリーの2億ドルのチャレンジが成功すれば、ポリオ撲滅の資金は5億5,500万ドルとなります。この大きな資金はロータリーの夢「ポリオ根絶」を非常に現実的なものとするでしょう。

第二は最も歴史のある教育的プログラムです。国際親善奨学金は1947年に創設されました。それ以来財団の援助のもと、およそ100カ国から39,000人を越える学生が留学し、国際親善に役割を果たしてきました。今日では民間団体が提供する海外留学奨学金としては世界最大のものとな

っています。

研究グループ交換 (GSE) も教育的プログラムです。1965年に発足しました。25歳から40歳までのチーム・メンバー4名とロータリアンのチーム・リーダーがGSEチームを構成し、2カ国がGSEチームを交換し、互いの国の文化や職業について学ぶものです。メンバーは相手国のロータリアンの家庭にホームステイします。

世界平和フェロシップ 1942年ポールハリスは、ロータリアン誌に次のような見解を述べています。「戦争が永遠に続くことなどはあり得ません。平和が必ず来るし、来るようにしなければなりません。来る年月、非常に困難で厳しい任務がロータリーを待っています。戦争で荒廃した世界の傷を癒すこと、憎しみを相互理解や寛容に変えること、憎しみの存在するところに愛情を築くこと、敵を友人に代え、激しい怒りや武力紛争を善意と国際平和に代えることがロータリーの任務です。」そのポールハリス没後50周年を記念してロータリーの究極の目標である、紛争解決・世界平和構築のために、1996年ロータリー・アカデミー・センターの構想が審議されました。2000年10月「紛争の解決と平和における国際問題研究のためのロータリー・センター」(通常ロータリー・センターと略す)が発足。そこで学ぶ学生のために世界平和奨学金の授与が始まりました。2005年2月世界平和奨学金の名称を世界平和フェロシップと改め、奨学生(Scholar)はフェロー(Fellow)となりました。当初世界から競争制で70名が選ばれることとなっていました。今は1地区から何人でも推薦できます。世界には7つのロータリー・センターがあります。異なる地域の評価の高い大学がセンターとなります。詳細は「財団地域セミナー・ハンドブック」p41-p45をご参照下さい。

第三は人道的プログラムです。地区補助金、マッチング・グラント、3-H補助金の3種類があります。**地区補助金**は地元の地域社会奉仕のためと、ロータリーが存在しないか、存在しても十分に機能していない外国の地域社会奉仕に利用します。**マッチング・グラント**はクラブ/地区が外国のロータリー・クラブ/地区と協同で実施する地域社会奉仕に利用します。いずれかの地区/ロータリー・クラブが実施国に存在していなければなりません。いずれの補助金も適格性については

人道的奉仕かどうかを問われます。また補助金を受け取った場合は、それがどのように成果を上げたのかを決められた書式で、報告することが義務付けられており、これを怠ると厳しいペナルティーのため地区全体が補助金を受けられなくなることもあります。当地区ではこれらの補助金は活発に利用され、素晴らしい成果をあげています。**3-H補助金**は、大規模の長期的プロジェクトに利用されますが、今年度からプロジェクトの対象が限定され利用は容易でなく、利用をお考えの場合は財団法人道的補助金委員会にご相談下さい。

地区ロータリー財団委員会：ガバナーは地区内ロータリアンに対して財団プログラムと寄付に参加するよう奨励しますが、それを援助することが地区ロータリー財団委員会の目的です。ロータリー財団委員会はロータリー財団とロータリアンの連絡役を務めます。

当地区のロータリー財団委員会の中には①財団情報・増進委員会 ②財団奨学金・学友委員会 ③研究グループ交換 (GSE) 委員会 ④財団法人道的補助金委員会の4つの小委員会があります。それぞれの委員会に委員長が任命されていて、独自に年間の活動目標を定めて互いに連絡を取り合いながら情報を共有し、地区内ロータリアンの財団プログラムへの取り組みを支援します。

ロータリー・カード：2003-2004年度からこの名称のクレジットカードが発行されました。このカードで支払いをすると、金額の0.3%が自動的にポリオ・プラスへの寄付金となって日本事務局に振り込まれます。さらに5,000円ごとに1,000ポイントがつき、これを財団に寄付出来ます。(年次寄付に加算)スタンダード・カードの場合入会金は不要です。クラブの会長・幹事・親睦委員長の皆様には是非入会して頂き、グループでの飲食などには是非ともロータリー・カードで支払いをして頂きたいと思えます。知らず知らずのうちに、寄付金実績が増えます。

ロータリー財団月間が、皆様の財団へのご理解を深めるための有意義な機会となりますことを念じて止みません。

2009年～2010年度 国際ロータリー 第2660地区インターアクト年次大会

インターアクト委員会
委員長

田中 康正
(八尾RC)

2009年-2010年度インターアクト年次大会が9月27日(日) ホテルアウィーナ大阪にて「笑顔で結ぶ国際交流-英語落語を通じて」と題して開催されました。

担当校は清風学園中学校・高等学校、ホストクラブは大阪南ロータリークラブです。当日は大谷Gを迎え6校の生徒63名・顧問先生13名・ロータリアン40名・ローターアクター10名の合計126名の参加で開催されました。

開会式の後、各校インターアクター代表からの活動報告があり、それぞれの学校で「赤い羽根募金活動・日本盲導犬協会の支援・あいさつ運動・老人ホーム施設での清掃活動・各地域での清掃活動・献血活動」等、独自の活動内容報告がありました。今年度は、メイン活動行事でもある海外研修(韓国)、新入生歓迎会行事が新型インフルエンザの影響により中止や延期になり残念な結果となりましたが、生徒達は元氣よく活動発表に励んでおりました。

続いて日本落語協会より、桂あさ吉氏に講演にきて頂き「笑顔で結ぶ国際交流」をテーマに英語落語を聞かせて頂きました。桂あさ吉氏の昌頭挨拶の中で「日本はどの国よりも恵まれており感謝をしよう。お金は無くなるが、人から思われる心はいつまでも無くならない。人の気持ちを大切に

しましょう」と話されました。落語という伝統文化を通して“笑い”という普遍性に至りたいという願いが込められています。

インターアクトクラブの目的条文に「国際理解と全人類に対する善意を増進する」というくだりがありますが、国際交流を笑顔で結ぶことに努めていきたい、相手に微笑みを贈り続ける大人になっていきたいと言う気持ちが込められていました。

午後からは生徒が7グループに分かれて英語落語に挑戦しました。初めはお互いに遠慮してなかなかスムーズにできなかったのですが練習を重ねるうちに段々と打ち解けあい、最後にそれぞれのグループから1名が発表しました。男子生徒5名・女子生徒2名が発表してくれたのですがそれぞれ皆個性豊かな内容で、甲乙つけるのは非常に難しかったです。

年次大会の最後は次年度担当の大阪桐蔭高校へ引き継ぎを行い無事終了しました。このような有意義な年次大会を企画運営されました清風学園中学校・高等学校の皆様、大阪南ロータリークラブの皆様、心から感謝申し上げます。今後ともインターアクトクラブへのご支援をよろしくお願い申し上げます。



パスト・ガバナー

神崎 茂

(大阪西RC)

「日韓(韓日)親善は人類愛から」をテーマとして2009年9月4日~5日の二日間に亘って、韓国ソウル、グランドハイアットホテルで行われ、日本側から600名余、韓国側から700名余(参加人員の公式発表なし)で合計約1,300名、当第2660地区から30名が出席しました。

韓日親善委員長(前RI理事)蔡熙秉氏が開会の挨拶で「両国の益々の経済発展と共にロータリーの親善を増進、特に青少年の交換によって相互理解を深めてゆくべきである」と話されました。

1982年に始まった当会議も途中中断の時期が長らく続き、3年前に第8回ソウル会議で再開され、昨年は青森会議に引き継がれ、今回、第10回の記念すべき会議となりました。

現在では日本側250RC、韓国側300RCの間で姉妹提携が締結され活発な交流が行われています。今回当地区から大阪北RCが長年に亘る交流の成果が大であるとして表彰されました。

日本側日韓親善委員長 今井鎮雄氏はその挨拶のなかで今日の世界経済の大混乱について言及し、その経過について見解を示されました。

ロータリー米山記念奨学会 板橋敏雄理事長が数多くの韓国人留学生に奨学金を支給し、米山学友が韓国社会で重要な立場に立って活躍している

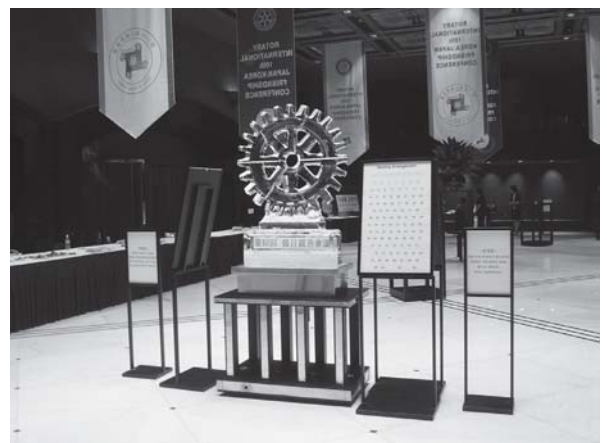
現状について語り、二人の学友が本会議に出席し米山奨学金が大きな力となって自分達の今日あることに感謝を表明しました。

駐韓国日本大使 重家俊範氏の祝辞があり、日韓両国のロータリアンが長年に亘って社会奉仕と国際親善に協力し、青少年交流や留学生奨学金制度に取り組んでいることに祝意を示され、両国の人的交流が今日では500万人に達しているとのことでした。

会議第二日目に特別講演者として前駐日韓国大使、前外務部長官(1994~1996)孔魯明氏が登壇し、日韓両国及び今回のロータリーの親善会議については一切言及することなく、終始一貫、日本帝国主義、靖国神社、歴史認識、教科書、独島(竹島)、過去の反省、村山談話等を話題にし、今回の政変によって民主党に期待するとの発言で終わりました。

当日、司会進行係の金昌奎氏(第3640地区永登浦RC)が孔氏の話が韓国側ロータリーの意図ではないとの異例の発言があったことが印象に残りました。

国際親善を目指す精神は崇高であるが、現実には幾多の問題を乗り越えてゆくべきものであると痛感した次第です。



2009年8月29日（土）
13：30～16：30
大阪YMCA会館 2Fホール

ロータリー財団委員会
委員長

福家 宏

(八尾中央RC)

各クラブの会長、幹事、財団委員長を対象とした地区ロータリー財団セミナーは、大谷Gはもとより、松本GE、岡部GN、AG、AGEならびに財団部門指導者として近藤PG(2億ドルのチャレンジ委員) 井上PG(財団ゾーンコーディネーター)にご出席頂きました。今回は終了後に地区研修委員会からのメッセージの時間が設定されていたので地区研修委員会リーダーの戸田PGはじめ神崎PG、横山PG、研修委員のご出席もあり、出席者は270余名に上りました。司会は四宮地区代表幹事が務められました。

大谷G

「世界のために良い事をしよう」というロータリー財団の始まり、財団の目指すもの(清潔な水、飢餓貧困の解消、識字率向上、病の克服、ポリオ根絶)、それは「武力によらない平和」の実現へと繋がっていくものだという事、財団への支援は日本が国際正義の実現や世界平和の達成にも寄与しているのだという国際的感覚をロータリアンは身につけるべき、などを説かれました。

地区財団委員長

ロータリー財団(TRF)の成り立ち、RIとの関連、目覚しい発展と奉仕の歴史、財団プログラムの種類と内容、国際ロータリーとロータリー財団とロータリアンとの関係などをお話しし、「未来の夢計画」に触れた後、ロータリーの2億ドルチャレンジのご説明とご協力のお願いを致しました。

1. 教育的プログラム部門

井上暎夫財団ゾーンコーディネーターから、教育的プログラムは基本的かつ重要なプログラムと認識すべきこと、プログラムを終えた財団学友を2007年規定審議会はロータリー・クラブの正会員とすることを認めたことを述べられ、学友をロータリーに迎え入れることへの支援と、大阪ネクストロータリークラブへの引き続いての理解を要請されました。

続いて山下勝弘財団奨学金・学友委員会委員長は、国際親善奨学生のおしくみや派遣の実際、制度の変化について話され、世界平和フェロシップ、PSCとPSCが母体となるRCにも言及されました。このあとPSCとしてバーミンガム国際大会学友記念行事に派遣された杉浦功一氏からスライドで大会の様子が示され、意義ある参加だったとの報告がありました。



これに続いて吉川邦英研究グループ交換委員会委員長から当地区のGSEへの取り組み、今年度の派遣情報、今後の事業予定が紹介され、今年度フランスに派遣された野村正勝団長と山本茂雄団員が素晴らしい体験談をスライドを用いて報告されました。

2. 人道的プログラム部門

山口勝之財団法人道的補助金委員会委員長が、補助金の利用度の推移、授与のための条件、種類、用途、申請の方法、ロータリアンの責務などについて、地区補助金とマッチング・グラントを中心に分かりやすく解説されました。

3. 情報・増進委員会

大竹洋一郎委員長は、①財務状況解説、一部補助金の中止 ②信頼と一致協力の必要性 ③寄付に関する解説とデータの開示 ④寄付の要請：年次寄付13,000円以上、ポリオ撲滅寄付4,000円以上 ⑤エステス管理委員長メッセージの紹介 ⑥ロータリー・カードの解説とカード入会要請、などが行なわれました。

このあと新谷秀一ロータリー財団部門顧問より、他の委員長と異なり向後3年間の任期を務める地区財団委員長への激励を頂き、大谷Gの説かれたことの実現に向け努力するようにとのお話しを頂きました。最後に松本新太郎GEの閉会のご挨拶をもって、盛大な財団地区セミナーは閉会しました。





職業奉仕委員会
委員長

中嶋 進治

(大阪城東RC)

本年度第1回クラブ職業奉仕委員長会議は、8月29日午前大阪YMCA会館で開催されました。

大谷透G、松本新太郎GE、岡部泰鑑GN、大森、西垣、鈴木、井上、重里、青木、藤田の7ガバナー補佐、6研修委員をお迎えし、72クラブの職業奉仕委員長が出席しました。

まず、神崎茂PGから「ロータリーの心、職業奉仕」と題した講演がありました。神崎PGは、今年1月に行われた国際協議会において、ラジェンドラ・サブ元RI会長が、近時、ロータリーにおいて、職業奉仕が忘れ去られた部門になっていることを懸念され、主として職業倫理を強調していたことを指摘されました。

また、昨年度、各クラブに対して実施した職業奉仕のアンケート調査から、職業奉仕委員長の悩みとして、①職業奉仕についての一般会員の認識が乏しい②職業奉仕について、語れる人がいない

③具体的な活動がわからない④職業奉仕の成果とは何か、等があがっていたことを話され、委員長が、「職業奉仕をどう捉えるべきか」と悩んでいるのが、実情ではないかと話されました。そして、神崎PGは、これら悩める委員長に対する一つの回答として、次のように述べられました。

「ロータリーは倶楽部であり、人材の宝庫でもある。従って、会員間の親睦と信頼を深め、情報の交換を通じて、それぞれの事業の発展を考えればいいのではないか。その具体的な方法としては、例会やその他の会合の時間を利用して、ロータリアンが、自らの職業体験を通じて、情報その他について他のロータリアンに語りかける10分、15分卓話の実施等を試みたらどうだろうか。」

また地区で推奨している出前授業については、神崎PGご自身も工場の進出先の島根県出雲地方の地元市長や教育長の要請により、地元の中学生



に対し、職業講話を行っておられることも披露されました。そして、出前授業が職業を通じて社会に奉仕する有効な方法の一つではないかと指摘されました。

次いで、畑田耕一前地区職業奉仕委員長から「職業奉仕と出前授業」について、ご自身が長年行っておられる小・中学生への出前授業の体験を通して講演があり、出前授業で大事なことは、自分の専門分野の根本原理、哲学を子供たちに伝えることだと強調されました。子供たちは根本原理、哲学を持ち前の想像力を働かせて理解しようと努力します。これはやがて新しいことを考える創造力へと展開していくこととなります。ぜひ各クラブにおいて、出前授業を推進して頂きたいと要請されました。

最後に、今年度、クラブとしてどのような職業奉仕の事業をするのかについて、「フォーラム」「職

場見学」「関連卓話」「出前授業」「職場体験」「その他」の6項目にわたって、それぞれ2, 3のクラブから事業計画の発表を行っていただきました。紙面の都合で詳細はお伝えできませんが、いずれも意欲的な事業計画でした。他のクラブの事業計画を参考にされて、自らのクラブの事業計画をさらに充実したものにして頂ければ、地区職業奉仕委員会としては、少しはその役目を果たせたのではないかと思います。

そして、来年3月ころに実施する第2回職業奉仕委員長会議で、実施した事業を発表し、これを討議して頂き、職業奉仕活動をより充実したものにしていくことができればと思っています。



社会奉仕委員会
委員長

片山 勉

(大阪東RC)

日 時： 2009年9月12日（土）
9:30~11:30
会 場： 薬業年金会館
出席者： 大谷G・岡部GN・ガバナー補佐・
地区社会奉仕委員会委員・
クラブ社会奉仕委員長・
大阪府交通環境課 芦谷様
大阪府赤十字血液センター 織田様
大阪府薬務課麻薬毒劇物グループ
中田様
合計 76名

今年度第1回クラブ社会奉仕委員長会議が9月12日に薬業年金会館にて76名の出席のもと開催されました。

まず大谷Gより社会奉仕について「地区のニーズに応える為に、ニーズを把握することが重要である」とのお話がありました。

続いて「兵庫県西・北部豪雨災害」「台湾南部台風8号被害」義援金への各RCの理解と協力への謝辞・地区社会奉仕委員会の活動方針の発表(社会奉仕活動の主体は各RCであり、地区委員会としては各クラブの活動を収集し、これらをまとめ、参考としてロータリアンがいつでも見られるように情報を発信すること及びその活動の広報につと

めること)及び地区補助金の概要と申請状況について委員長から報告しました。

次に大阪府のニーズとして

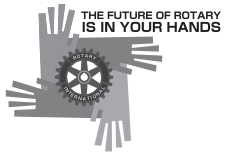
- ①環境対策「大阪府民会議」の活動
- ②交通安全運動
- ③麻薬撲滅「ダメ・ゼッタイ」運動
- ④日本赤十字「献血」運動

について地区委員及び大阪府関係者から説明と協力依頼がありました。

大阪府関係の方々の活動を統括し、岡部GNより「全て身近な課題であり、RCとして積極的に協力したい」と話されました。

最後に、第2回クラブ社会奉仕委員長会議を平成22年2月20日（土）薬業年金会館で開催し、小グループにわかれ、各クラブの社会奉仕活動について話し合う形式とする旨の報告と、当日配布された過去3年間の全クラブの社会奉仕活動事例集及び今年度の事例集の最終原稿校正への協力依頼及び完成された事例を冊子にまとめ10月末日迄に各クラブに送付するので、是非ご一読・ご活用を願いたいとの閉会挨拶で締め括られました。





青少年交換委員会
委員長

岡田 俊作

(大阪本町RC)

昨年から三地区 (D-2660, D-2640, D-2680) が合同で、来日学生のオリエンテーションを実施することになり二回目を開催致しました。今年度担当の第2640地区 (大阪南部・和歌山全域) 青少年交換委員会のお世話で、ユネスコ世界遺産に選ばれた「高野山」で9月26日 (土)～27日 (日) に行われ、参加者も約70名 (来日学生23名を含むロータリアンとローテックス) を数えました。

徳川将軍家の菩提寺である別格本山・蓮花院 (宿坊) で、9月26日午後3時から来日学生がそれぞれの出身国の国旗を掲げ国歌を斉唱して初日のオリエンテーションがはじまりました。第2640地区ガバナー村上有司様、各地区委員長 (第2640地区豊岡委員長、第2680地区吉田委員長) のご挨拶の後、高野山RCの御協力も戴き、地元の高野山高校のインターアクトメンバーとの交流会や同校の空手部生徒による演武観賞に食い入っていました。その後は、般若心経の写経を体験して蓮花院へ納めました。夕食までの時間には、手品や腹話術の余興も企画されており楽しいひと時でした。

夕食後は、各地区単位に別れてのオリエンテーションを行いました。この夜のオリエンテーションでは、来日から約1か月を経過した時点での来日学生の悩みや問題を引き出して、ロータリアンや海外派遣経験のあるローテックスメンバーからのアドバイスや討論を通じて、日本での生活習慣や学校生活に理解を深めて貰うことを目的としており、同時にホストファミリーとの信頼感のある有意義な生活をする為の指導です。

二日目は早朝の本堂でのお勤めに全員で参加し、読経の流れる中での荘厳な雰囲気を楽しむことが出来ました。前日各自の願いごとを書いて仕上げた皆の写経が、本尊に供えられていました。その後、午前中は外国語の出来るボランティアガイドの説明を聞きながら、一の橋から奥の院を見学し、歴史上の人物の説明などに興味を示していました。昼食後は、金剛峯寺・伽藍・根本大塔を見学し、高野山を充分満喫して3時過ぎに下山の途につきました。



会長

久保 義誓

(茨木RC)

去る7月23～26日、第2660地区茨木RCは50周年記念事業として、インドネシアの3ヶ所において（ジャカルタ、ジョグジャカルタ、バリ）、恵まれない子どもたちを対象に「愛と希望」をテーマにコンサートを実施しました。合計1,000名を超える子どもたち、約450人のロータリアン・現地ローターアクトメンバーとともに有意義な一時を過ごすことができました。

今回、唄っていただいた森祐理さんは平素から「愛と希望」を人々の心に伝えることを生業とされ、全国の施設等を回っておられます。ご自身も、神戸の震災で弟さんを亡くされましたが、そんなお話を子供たちの前でされた時には、涙をこらえている子どもたちもたくさんいました。

「ドラえもののポケットの中にあなたの一番欲しいものが入っているとすれば、それはなあに？」と森祐理さんが孤児院の子どもに尋ねた時、ある子どもは「お父さん。」と答えました。その時、会場が一瞬しーんとなり、我々一同はそこに居合わせた方々と、「全ての人の幸せ」を願う気持ちで心が一つになりました。また、様々な境遇にある子どもたちの言葉や笑顔から、多くの大切なものを貰った気がしました。奉仕とは与えるものではなく、双方向のものであるということを深く認

識しました。50周年を迎えるにあたり、我が茨木RCのあり方を再認識できたと思っています。

現地のマスコミも取材に来られ、各地の新聞やテレビに取り上げられました。そのことにより、多くの方々にロータリーの奉仕の精神が伝わったと思います。

最後のバリでのコンサートの後、パーティーが開かれ、RI第3400地区トーマスガバナー、パストガバナー、姉妹クラブである台北西北RCメンバー、インドネシアRCメンバーと友好を深め、インドネシア記念事業の幕を下ろしました。



地区社会奉仕委員会
地区国際奉仕・WCS委員会

RI協同プロジェクト最高賞は、地元、全国、あるいは国際レベルにおいて、他団体と協同で実施された奉仕プロジェクトを対象とした賞です。受賞の対象となるプロジェクトは、人道的ニーズを取り上げた奉仕活動です。

2008～2009年度は、第2660地区から2つのプロジェクトが受賞しました。



- プロジェクト名：
モンゴルどすこい北河内
わんぱく相撲門真場所
協力RC：守口RC
門真RC
守口イブニングRC
協同団体：門真市国際交流協会
門真相撲連盟
北河内相撲連盟
モンゴル相撲協会



- プロジェクト名：
留学生と小学生のジョイント授業
(留学生と小学生のふれあいの会)
RC：大阪難波RC
協同団体：独立行政法人 日本学生支
援機構 大阪日本語教育セ
ンター 大阪市立五条小学
校

地区米山奨学委員会より

2009年8月末	全国寄付金合計額	290,286,418円 (前年度比7.23%減)
〃	第2660地区寄付金合計額	16,108,000円 (前年度比12.08%増)
2009年8月末	全国寄付合計トップ10	
	1. 第2770地区	18,562,016円
	2. 第2750地区	17,928,855円
	3. 第2760地区	17,378,000円
	4. 第2650地区	16,946,150円
	5. 第2660地区	16,108,000円
	6. 第2590地区	14,628,660円
	7. 第2580地区	13,175,300円
	8. 第2710地区	11,934,500円
	9. 第2610地区	11,526,300円
	10. 第2790地区	9,517,600円

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。
(2009年8月)

氏名	回数	クラブ名
金森 市朗	1 回目	枚 方 RC
仲 光男	1 回目	枚 方 RC
西本 和彦	1 回目	枚 方 RC
小野 俊文	1 回目	枚 方 RC
田邊 誠	1 回目	枚 方 RC
西尾 忠夫	3 回目	茨 木 西 RC
西田 滋	2 回目	茨 木 西 RC
吉岡 宣史朗	2 回目	茨 木 西 RC
原田 直己	3 回目	大 阪 難 波 RC
望月 英成	4 回目	大 阪 難 波 RC
天本 雄二	1 回目	大 阪 難 波 RC

米山功労クラブ

次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。
(2009年8月)

クラブ名	回数
枚 方 RC	21 回目
大 阪 難 波 RC	48 回目

ロータリー財団

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2009)

笠井 靖彦	大 阪 柏 原 RC	8/7
楠 研二	大 阪 淀 川 RC	8/28
浜 博英	新 大 阪 RC	8/28
中小路 悦子	茨 木 西 RC	8/14

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2009)

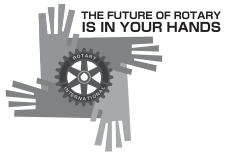
川口 淳三	3回目 東 大 阪 東 RC	8/28
渡邊 邦雄	7回目 大 阪 城 南 RC	8/31
和中 裕	7回目 大 阪 北 RC	8/21
鎌田 充生	3回目 大 阪 天 満 橋 RC	8/7
南川 和茂	5回目 大 阪 天 満 橋 RC	8/7
高島 政康	6回目 東 大 阪 西 RC	8/28
飯原 啓吾	3回目 新 大 阪 RC	8/28
花原 昭弘	3回目 新 大 阪 RC	8/28
赤井 ムツエ	1回目 茨 木 西 RC	8/14

ベネファクター

次の方たちにベネファクターの称号が贈られました。
(2009)

樫畑 寛治	大 阪 難 波 RC	8/21
南川 和茂	大 阪 天 満 橋 RC	8/7

2009年9月度 会員数・出席報告



I-M組	クラブ名	7月期初会員数	9月末 会員数		入会者数累計	退会者数累計	増減	例会数	出席率	ホームクラブ 出席率	I-M組	クラブ名	7月期初会員数	9月末 会員数		入会者数累計	退会者数累計	増減	例会数	出席率	ホームクラブ 出席率
			全員	女性										全員	女性						
I-M第1組	池田	38	38	2	0	0	0	4	63.16	59.87	I-M第5組	大阪北梅田	50	50	4	0	0	0	3	76.00	64.67
	池田くれは	40	38	1	0	2	-2	3	79.57	76.76		大阪西	84	82	0	0	2	-2	3	90.93	77.60
	箕面	29	29	1	0	0	0	4	92.24	80.17		大阪大淀	47	47	0	0	0	0	3	82.17	79.07
	箕面中央	24	24	0	0	0	0	4	88.81	84.30		大阪リバーサイド	35	36	5	1	0	1	4	93.43	72.50
	豊中	47	47	2	0	0	0	4	93.84	89.32		大阪西北	57	57	0	0	0	0	4	92.50	85.00
	豊中南	40	40	1	0	0	0	4	86.42	75.13		大阪そねざき	54	54	32	0	0	0	4	93.87	79.25
	豊中-大阪国際空港	22	22	0	0	0	0	4	77.14	69.82		大阪梅田	46	47	0	1	0	1	4	87.83	78.66
	豊中千里	38	38	3	0	0	0	4	86.61	80.26		大阪梅田東	36	37	0	1	0	1	3	91.88	76.57
	小計	278	276	10	0	2	-2		83.47	76.95		大阪ユニバーサルシティ	27	28	2	1	0	1	3	78.67	66.67
I-M第2組	茨木	26	26	2	0	0	0	4	95.49	82.72	小計	697	703	50	10	4	6		87.51	76.54	
	茨木東	46	46	3	0	0	0	4	84.90	76.13	大阪	252	256	0	6	2	4	4	72.09	58.81	
	茨木西	25	27	6	2	0	2	4	100.00	75.00	大阪東	120	121	0	1	0	1	4	93.20	72.76	
	千里	49	48	0	0	1	-1	4	91.15	80.58	大阪東淀ちゃやまち	41	41	6	0	0	0	3	89.79	75.62	
	千里メイプル	27	26	3	0	1	-1	4	89.81	81.48	大阪城東	49	51	4	2	0	2	4	91.33	80.32	
	摂津	40	40	2	0	0	0	4	88.81	81.98	大阪中之島	32	33	1	1	0	1	4	85.33	74.99	
	吹田	64	64	6	0	0	0	4	91.92	84.69	大阪大手前	42	42	3	0	0	0	4	84.40	72.37	
	吹田江坂	42	43	3	1	0	1	4	96.29	86.46	大阪城北	60	60	1	0	0	0	4	84.20	83.24	
	吹田西	47	49	1	2	0	2	3	100.00	90.59	大阪天満橋	74	74	0	0	0	0	3	82.46	76.67	
	高槻	49	49	3	0	0	0	4	86.44	85.37	大阪鶴見	36	37	1	1	0	1	4	85.09	79.98	
I-M第3組	高槻東	42	42	0	1	1	0	4	96.65	94.60	大阪淀川	40	40	2	0	0	0	3	94.16	72.99	
	高槻西	26	26	0	0	0	0	3	84.61	79.46	新大阪	38	38	0	1	1	0	4	78.29	71.05	
	小計	483	486	29	6	3	3		92.17	83.26	小計	784	793	18	12	3	9		85.49	74.44	
	大東	47	47	0	1	1	0	4	97.69	90.70	大阪フレンド	17	17	6	0	0	0	4	79.41	60.94	
	大東中央	32	32	10	0	0	0	4	80.45	69.23	大阪本町	27	27	2	0	0	0	4	83.98	73.61	
	枚方	41	45	0	4	0	4	4	91.67	86.54	大阪御堂筋	36	36	0	0	0	0	4	85.00	72.14	
	門真	27	29	2	2	0	2	4	85.71	76.79	大阪南	127	131	0	5	1	4	4	78.82	66.44	
	交野	23	23	1	0	0	0	3	92.49	92.49	大阪難波	57	57	0	0	0	0	3	86.05	74.85	
	香里園	19	19	0	0	0	0	4	95.41	82.91	大阪なにわ	34	32	1	0	2	-2	4	84.15	76.65	
	くずは	55	56	0	1	0	1	4	80.76	73.99	大阪南西	20	20	4	0	0	0	4	87.50	80.56	
I-M第4組	守口	41	42	3	1	0	1	4	87.50	77.98	大阪西南	93	93	13	0	0	0	4	96.80	75.81	
	守口イブニング	23	24	3	1	0	1	4	79.17	72.92	大阪船場	45	45	0	0	0	0	3	94.00	80.00	
	寝屋川	42	42	4	0	0	0	3	90.34	81.53	大阪心齋橋	38	38	0	0	0	0	4	95.95	80.86	
	四條畷	13	13	0	0	0	0	4	95.80	92.96	大阪うつぼ	41	41	6	0	0	0	4	85.06	82.05	
	小計	363	372	23	10	1	9		88.82	81.64	小計	535	537	32	5	3	2		86.97	74.90	
	東大阪	75	75	0	0	0	0	4	87.00	77.70	大阪阿倍野	18	18	2	0	0	0	4	89.83	75.61	
	東大阪中央	41	42	0	1	0	1	3	85.13	75.92	大阪阪南	47	47	2	1	1	0	4	88.90	85.04	
	東大阪東	70	73	6	3	0	3	3	83.13	72.02	大阪平野	36	37	4	1	0	1	3	98.09	88.49	
	東大阪みどり	27	28	1	1	0	1	4	84.80	70.54	大阪イブニング	21	21	5	0	0	0	3	82.54	74.60	
	東大阪西	38	40	0	2	0	2	3	98.05	52.46	大阪城南	59	58	0	0	1	-1	4	99.52	86.87	
大阪柏原	35	35	4	0	0	0	4	97.67	87.54	大阪咲洲	22	22	1	0	0	0	4	86.36	63.64		
I-M第5組	大阪ネクスト	17	17	7	0	0	0	4	80.00	66.00	大阪住之江	25	25	2	0	0	0	3	96.21	71.80	
	八尾	83	83	0	1	1	0	4	97.09	69.64	大阪住吉	32	32	2	0	0	0	3	80.77	71.79	
	八尾中央	23	24	2	1	0	1	4	88.41	78.89	大阪天王寺	19	19	0	0	0	0	3	86.93	85.08	
	八尾東	29	29	2	0	0	0	4	72.45	62.14	大阪東南	53	53	0	0	0	0	4	96.23	72.26	
	小計	438	446	22	9	1	8		87.37	71.29	小計	332	332	18	2	2	0		90.54	77.52	
	大阪中央	57	58	6	2	1	1	4	93.10	81.45											
大阪堂島	31	33	1	2	0	2	3	83.84	83.84												
大阪北	173	174	0	2	1	1	4	85.91	73.18												
合計											クラブ数	7月期初会員数	月末会員	女性会員	入会者数累計	退会者数累計	増減		平均出席率	平均出席率	
											85	3910	3945	202	54	19	35		87.8	77.1	



「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料につ

いてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

————— ロータリー情報—ガバナー月信他から —————

- ◎ 「ロータリーの魅力について」 牧田静二 2009 2p (D.2620)
- ◎ 「大連RCの『ロータリー宣言』(大連宣言)について」 岩渕 均 2009 2p (D.2770)
- ◎ 「よねやま雑感」 板橋敏雄 2009 1p (D.2550)
- ◎ 「三井報恩会(初代理事長米山梅吉)の結核撲滅と救済援助」
長谷川 了 2009 3p (米山梅吉記念館館報)
- ◎ 「概説—我が国に於ける戦前のロータリー運動」 金子秀隆 2009 6p
- ◎ 「ロータリーを語る —ロータリー鼎談」
足立功一(コーディネーター) 2009 4p (D.2500 IM報告書)
[上記申込先: ロータリー文庫(コピー/PDF)]
- ◎ 「ロータリアンが取り組んだ平和への道標」 坂本俊雄 2009 41・42p
[申込先: レオパオラ FAX (042) 622-7271]
- ◎ 「素晴らしい出逢い よき師、よき友は人生の宝②」 戸田 孝 2009 228p
[申込先: D.2660 FAX (06) 6264-2661]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

〈お知らせ〉

第2660地区 今後の主要行事予定

開催日	行事名	会場
2010年2月26日（金） ～27日（土）	地区大会（ホスト：大阪西南）	リーガロイヤルホテル・ 大阪国際会議場
3月20日（土）	地区チーム研修セミナー・ 会長エレクト研修セミナー（PETS） 合同研修会（ホスト：八尾）	大阪国際会議場
4月24日（土）	地区協議会（ホスト：八尾）	大阪国際会議場
5月2日（日） ～4日（火）	春のライラ（ホスト：大阪城北）	大阪府立青少年海洋センター
6月20日（日） ～23日（水）	国際大会	モントリオール（カナダ）
7月17日（土）	合同地区委員会（ホスト：八尾）	大阪YMCA
8月28日（土）	地区財団セミナー（ホスト：八尾）	大阪YMCA
10月29日（金） ～30日（土）	地区大会（ホスト：八尾）	リーガロイヤルホテル・ 大阪国際会議場

台湾台風災害義援金に対する御礼

8月上旬に台湾で台風の被害を受けられた方々を支援するため、義援金の募集をいたしましたところ、各クラブから多額の義援金を拠出していただきました。義援金の総額は1,979,801円となりました。

皆様からの義援金はガバナー会を通じ、台日国際扶輪親善会 林士珍理事長にお渡しして、台湾の被災者支援に活用していただきます。

皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

国際ロータリー第2660地区

ガバナー 大谷 透
社会奉仕委員会 委員長 片山 勉

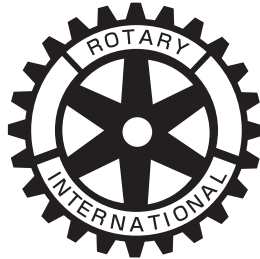
会長交代（2009年10月1日より）

大阪そねぎRC 新会長 伊崎 順五

ガバナー月信の表紙カラー

ガバナー月信の表紙の色は、今年度のガバナーカラーでスタートいたしましたが、季節感を出すため3ヶ月ごとに色を変えることにいたしました。10月号から色を変更しております。説明と報告が遅れましたことをお詫びいたします。

ガバナー月信編集委員会



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

2009～2010
GOVERNOR
TORU OTANI

THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS

国際ロータリー第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6F
TEL:06-6264-2660 FAX:06-6264-2661 E-mail:gov@ri2660.gr.jp

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

6F, Toyama Bldg. East, 1-5-11, Azuchi-machi, Chuo-ku, Osaka 541-0052, JAPAN
Phone:81-6-6264-2660 FAX:81-6-6264-2661 E-mail:gov@ri2660.gr.jp